

長野県内における建築BIMの活用状況等に関するアンケート(令和3年8月)

この度はアンケート調査にご協力いただきありがとうございます。

本調査の回答に当たっては、回答用紙【エクセル表の『アンケート その1』『アンケート その2※』】に記入の上ご回答ください。

※『アンケート その2』は、『アンケート その1』Q5で「②導入していない」を選択した場合のみ回答してください。

自動集計を行うため、列の増減等、エクセルシートの改編はしないでください。

また、「プルダウン用シート」「事務局管理用シート」は削除しないでください。

各選択肢については、以下の凡例を参考の上、プルダウンによる選択、又は記入をお願いいたします。

自由回答欄以外はプルダウンより回答を選択してください。

凡例：

単一回答

複数選択可

自由回答欄

回答不要

<回答方法>

- メールにより回答をお願いします。

回答先 shisetsu-1@pref.nagano.lg.jp

報告期限 **令和3年9月15日(水)**

件名 **【回答】長野県内における建築BIMの活用状況等に関するアンケート(令和3年8月)**

※メール本文は不要です。

BIMの活用状況等に関する『アンケート その1』

■はじめにお伺いします。

自由回答欄以外はプルダウンより回答を選択してください。

以下、ご回答いただく際の参考としてご確認ください。

凡例：

単一回答

複数選択可

自由回答欄

回答不要

Q0：回答者について記入してください。

所属団体（複数団体所属の場合は、主たる所属団体の1つを選んでください）（11団体から選択）	
会社名	
電話番号	
メールアドレス	

※県（事務局）にて回答内容を拝見し、もし何か確認したい事項があればご連絡させていただきます。

それ以外にお名前、電話番号、メールアドレスの情報を活用することはございません。

Q1：貴社の属性情報について、当てはまる項目をお選びください。

設計・施工等、複数の業務を行っている会社においては、該当する業の項目を全てお選びください。

※1：専門設計事務所の場合は、該当する項目全てをお選びください。その他の場合は、自由記入欄に記入してください。

※2：専門工事会社を選択された場合は、建設業許可を得た工事種別について、自由記入欄にお書きください。

設計事務所	総合設計事務所	→		
	専門設計事務所※1 (貴社の構成部署を全て挙げてください。)	意匠設計	→	
		構造設計	→	
		設備設計	→	
		都市計画	→	
		積算	→	
	その他	→		
施工会社	総合建設業	→		
	専門工事会社※2		→	
		建設業許可を得た工事種別	→	
	ハウスメーカー	→		
維持管理会社		→		
その他		→		

Q2： 貴社の規模（従業員数※）について、当てはまるものを一つお選びください。

※本店・支店がある場合は、これらを含む会社全体の従業員数（事務職含む） →

- ①1人～2人 ②3人～5人 ③6人～10人
- ④11人～20人 ⑤21人～30人 ⑥31人～50人
- ⑦51人～100人 ⑧101人～300人 ⑨301人～500人
- ⑩501人～1,000人 ⑪1,001人～2,000人 ⑫2,001人～5,000人
- ⑬5,001人以上

Q3： 貴社で令和2年度（R2.4.1～R3.3.31）に受託した案件数について、自由記入欄にご記入ください。

※設計・施工の一括受注場合は、「設計と施工で1件」としてしてください。 → 件

Q4： 貴社における受注案件に占める公共工事の割合について、当てはまるものを一つお選びください。

- ①0%～20% ②21%～40% ③41%～60%
- ④61%～80% ⑤81%～100%

Q5： 貴社におけるBIMの導入状況について、当てはまるものを一つお選びください。

- ①導入している ②導入していない

※②を選択した場合は、「アンケート その2」に進んでください。

建築BIM（Building Information Modelling）とは

コンピューター上に作成した主に3次元の形状情報に加え、室等の名称・面積、材料・部材の仕様・性能、仕上げ材等、建物の属性情報を併せ持つ建物情報モデルを構築するシステム

※Q5で「①導入している」を選択された場合は、以下の質問（Q6～Q22）にご回答ください。

「②導入していない」を選択された場合は、「アンケートその2」Q II-1～Q II-4にご回答ください。

■貴社でのBIMの導入について、お伺いします。

Q6： 貴社でBIMを導入した「時期」について、当てはまるものを一つお選びください

- ①令和3年度（半年以内） ②令和2年度（1年前） ③令和元年度（2年前）
- ④平成30年度（3年前） ⑤平成29年度（4年前） ⑥平成28年度（5年前）
- ⑦5年前～10年前 ⑧10年以上前

Q7： 貴社でBIMを導入した「背景やきっかけ」について、当てはまるものを全てお選びください。

その他の場合は、自由記入欄に記入してください。

- ①業務の効率化を期待した
- ②業務の質の向上を期待した
- ③受注機会の創出を期待した
- ④データ連携・蓄積を期待した
- ⑤顧客へのプレゼンテーションに用いるため
- ⑥発注者からBIM活用を求められたため
- ⑦協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められたため
- ⑧海外案件に対応するため
- ⑨他の同規模同業者がBIM活用を進めていたため
- ⑩海外の動向をみて導入した
- ⑪業界の将来的な動向を予想して導入した
- ⑫その他

-
-
-
-
-
-
-
-
-
-
-

その他を選択した場合は、その内容を記入してください

■貴社でのBIMの活用について、お伺いします。

Q8： 貴社でBIMを活用している「人数の割合（事務職除く）」について、当てはまるものを一つお選びください。

- ①0%～20% ②21%～40% ③41%～60%
- ④61%～80% ⑤81%～100%

→

Q9：貴社で令和2年度以降に受託した案件のうち、「BIMを活用している案件の割合」について、「企画・基本計画・基本設計」、「実施設計」、「施工計画・施工図・工程管理」、「維持管理」の別で、当てはまるものを一つお選びください。

企画、基本計画・基本設計	→	<input type="checkbox"/>
実施設計（積算・数量算出含む）	→	<input type="checkbox"/>
施工計画、施工図、工程管理	→	<input type="checkbox"/>
維持管理	→	<input type="checkbox"/>

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| ①活用していない | ②20%以内 | ③21%～40% |
| ④41%～60% | ⑤61%～80% | ⑥81%～100% |

Q10：貴社で主にBIMを活用する「建築物や計画（プロジェクト）」の「特徴」について、当てはまるものを全てお選びください。その他の場合は、自由記入欄に記入してください。

①比較的簡単な形状の建築物	→	<input type="checkbox"/>	⑫過去の図面や同一敷地内の他の建築物にBIMが活用されている場合	→	<input type="checkbox"/>
②比較的複雑な形状の建築物	→	<input type="checkbox"/>	⑬関連事業者がBIMを活用できる場合	→	<input type="checkbox"/>
③比較的繰り返しの操作・作業が多い建築物	→	<input type="checkbox"/>	⑭発注者・関連会社等からBIM活用を求められた場合	→	<input type="checkbox"/>
④比較的規模が小さい建築物	→	<input type="checkbox"/>	⑮民間事業の場合	→	<input type="checkbox"/>
⑤比較的規模が大きい建築物	→	<input type="checkbox"/>	⑯公共事業の場合	→	<input type="checkbox"/>
⑥自社・関連会社の建築物	→	<input type="checkbox"/>	⑰設計施工一括方式の場合	→	<input type="checkbox"/>
⑦スケジュールに余裕がある建築物	→	<input type="checkbox"/>	⑱物件担当者・技術者がBIMを活用できる場合	→	<input type="checkbox"/>
⑧スケジュールに余裕がない建築物	→	<input type="checkbox"/>	⑲受注した全ての物件	→	<input type="checkbox"/>
⑨発注者が竣工後も自己保有・維持管理する建築物	→	<input type="checkbox"/>	⑳その他	→	<input type="checkbox"/>
⑩竣工後に改修工事が多く想定される建築物	→	<input type="checkbox"/>	その他を選択した場合は、その内容を記入してください		
⑪竣工後にレイアウト変更が多く想定される建築物	→	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>		

Q11：貴社で主にBIMを活用する・活用したことがある「建築物の用途」について、当てはまるものを全てお選びください。その他の場合は、自由記入欄に記入してください。

①戸建住宅	→	<input type="checkbox"/>	⑦病院	→	<input type="checkbox"/>
②共同住宅	→	<input type="checkbox"/>	⑧庁舎・公共施設	→	<input type="checkbox"/>
③事務所	→	<input type="checkbox"/>	⑨ホテル・旅館	→	<input type="checkbox"/>
④商業施設	→	<input type="checkbox"/>	⑩用途によらず活用している	→	<input type="checkbox"/>
⑤工場	→	<input type="checkbox"/>	⑪その他	→	<input type="checkbox"/>
⑥学校	→	<input type="checkbox"/>	その他を選択した場合は、その内容を記入してください		
<input type="text"/>					

Q12：貴社で主にBIMを活用する・活用したことがある建築物の「構造種別」について、当てはまるものを全てお選びください。その他の場合は、自由記入欄に記入してください。

①S造	→	<input type="checkbox"/>	⑤構造によらず活用している	→	<input type="checkbox"/>
②RC造	→	<input type="checkbox"/>	⑥その他	→	<input type="checkbox"/>
③SRC造	→	<input type="checkbox"/>	その他を選択した場合は、その内容を記入してください		
④木造	→	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>		

Q13：貴社でのBIMの「活用状況」について、当てはまるものを一つお選びください。

①積極的に活用している	②積極的には活用していない	→	<input type="checkbox"/>
-------------	---------------	---	--------------------------

Q14：Q13で「②積極的に活用していない」を選択した理由について、当てはまるものを全てお選びください。その他の場合は、理由を記入してください。

- ①まだ導入したばかり又は習熟途中である →
- ②活用したいが活用方法がわからない →
- ③活用したいが活用できる人材が不足している →
- ④協力会社からの要請があれば活用するが、その他では積極的に活用していない →
- ⑤活用したが効果が出なかったため →
- ⑥入力作業に手間がかかる、納期の制約で間に合わない →
- ⑦発注者・関連会社等から要求がない →
- ⑧3DCAD等の現行ソフトの活用で支障がない（十分である） →
- ⑨その他 →

その他を選択した場合は、その内容を記入してください

■貴社でのBIM活用のメリット・効果について、お伺いします。

Q15：貴社でBIMの導入により「メリット・効果が得られた」と実感できるのはどのような場面でしょうか。当てはまるものを全てお選びください。その他の場合は、自由記入欄に記入してください。

- ①3Dでの可視化によるコミュニケーションや理解度の改善 →
- ②設計図書間での整合が図りやすくなった →
- ③顧客に対して良い印象を与えられた →
- ④設計変更に伴う手間やコストが減少した →
- ⑤手戻りや調整の減少により計画（プロジェクト）が円滑に進むようになった →
- ⑥その他 →

その他を選択した場合は、その内容を記入してください

Q16：貴社でBIMの導入による「メリット・効果が得られていない」と感じるのは、どのような場面でしょうか。当てはまるものを全てお選びください。その他の場合は、自由記入欄に記入してください。

- ①現在のCAD等の業務に加えてBIMを活用しており、結果として二重作業になるなど、作業にかかる時間・手間が増加した →
- ②習熟に係る時間や作業手間に対して、現時点では得られるメリットが少ない →
- ③協力会社でBIMが導入されておらず、分野をまたいだ連携ができていない →
- ④ソフト・システム等の維持費が負担となっている →
- ⑤効率的に活用するための自社でのシステム構築や標準化を図ることが負担となっている →
- ⑥人材育成の費用・時間等が負担となっている →
- ⑦建材等のBIMデータが流通していない →
- ⑧その他 →

その他を選択した場合は、その内容を記入してください

■貴社のBIMデータでの連携について、お伺いします。

Q17：「社外とのデータ連携」を行ったことはありますか？

- ①ある ②ない

→

Q18：貴社での計画（プロジェクト）等完了後の「BIMデータの保管」について、「社内でルール」を定めていますか？
当てはまるものを一つお選びください。また定めている場合、BIMデータということで特に留意している
点がありますか？

- ①定めている ②定めていない

→

留意点：

Q19：「BIMデータの権利（著作権や所有権）」についてどのようにお考えですか？

（例：権利が推進の障害になっていると感じている。等）

■貴社におけるBIMに関する人材育成について、お伺いします。

Q20：貴社でのBIMに関する「教育」として、どのような取り組みを行っていますか。

当てはまるものを全てお選びください。その他の場合は、自由記入欄に記入してください。

①OJT（職場での実践を通じて業務知識を
身につける育成手法）

→

④社外研修や外部セミナーへの参加

→

②社内研修（内部講師）

→

⑤行っていない

→

③社内研修（外部講師）

→

⑥その他

→

その他を選択した場合は、その内容を記入してください

Q21：貴社において、BIMを活用する「人材を育成」するために、教育に「必要な期間」は概ねどれくらいですか。

（必要な業務を任せるに当たり、想定されるBIMの教育期間の目安をお答えください）

- ①2週間程度 ②1か月程度 ③3か月程度 ④6か月程度
⑤概ね1年 ⑥概ね1年半 ⑦2年以上 ⑧わからない

→

■今後のBIMの普及するための課題、課題の解決手法等についてお伺いします。

Q22：建築BIMを普及・拡大に向けて、課題、課題の解決手法、ご意見等ありましたら記入をお願いします。

（Q16も参照して下さい）

【自由記載】

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

BIMの活用状況・普及拡大に関する『アンケート その2』

■今後のBIMの導入について

※『アンケート その1』Q5で「②導入していない」を選択された場合は以下の質問（QII-1～QII-4）にご回答ください。

QII-1: 今後の「BIMの導入」についてどのようにお考えですか？当てはまるもの一つをお選びください。

- ①導入予定はない・未定 ②導入の予定はないが導入に興味がある
③1年以内に導入する予定がある ④3年以内に導入する予定がある

→

QII-2: BIMの「導入に至らない理由」について、当てはまるもの全てをお選びください。
その他の場合は、自由記入欄に記入してください。

(1. BIMを活用した業務やBIMの導入)

- ①BIMとは何か、何に活用できるのかを詳しく知らないため →
②BIMを導入し、業務を行うためには何から始めればよいかわからないため →
③BIMの導入効果を詳しく知らないため →

(2. 業務負担・業務体制)

- ④CAD等で現状問題なく業務を行うことができているため →
⑤業務をBIMに切り替えた場合、習熟するまで業務負担が大きいため →
⑥既にBIMを活用しない仕組みで高効率な業務体制等を構築できているため →

(3. 費用負担・効果)

- ⑦費用対効果の面で、投資する費用を超える生産性向上効果等が現状見込めないと考えため →
⑧費用対効果の面で、投資する費用を超える生産性向上効果等がわからないため →
⑨BIMを活用する人材がいないため、又は人材育成・雇用に費用がかかるため →
⑩BIMのソフト等の購入・維持に高額な費用がかかるため →
⑪BIMのソフト等の購入・維持に費用がいくらかかるかわからないため →

(4. 業務を取り巻く環境)

- ⑫発注者からBIM活用を求められていないため →
⑬協力会社等、業務上の関係者からBIM活用を求められていないため →
⑭他の同規模同業者がBIM活用を進めていないため →

(5. その他)

- ⑮BIMデータは、これまでの図面等と比べて長期的な真正性や見読性が不安であるため →
⑯その他 →

その他を選択した場合は、その内容を記入してください

QII-3: QII-1で「②導入の予定はないが導入に興味がある」「③④導入する予定がある」を選択した場合、
今後BIMの「導入を決断する契機として考えられるもの」について、当てはまるもの全てをお選びください。
その他の場合は、自由記入欄に記入してください。

(1. 業務負担・業務体制)

- ①業務をBIMに円滑に切り替え、習熟していく手法が明らかとなること →

(2. 費用負担・効果)

- ②BIMの導入による費用対効果が明らかになること →
③BIMに係るコスト（ソフト・人材育成等）が低減すること →

(3. 業務を取り巻く環境)

- ④民間発注でBIM活用が求められること →
⑤公共発注でBIM活用が求められること →
⑥協力会社等、業務上の関係者がBIM活用を進めること →
⑦他の同規模同業者がBIM活用を進めていること →

(4. 市場環境等の整備)

- ⑧メーカーの提供するBIMオブジェクト等の図面材料が充実化すること →
⑨BIMを扱える技術者が業界に増えること →
⑩各種行政手続き（確認申請等）でBIMを活用し、電子申請を容易に行えるようになること →
⑪分類体系が整備され、コストマネジメントが容易になること →

⑫データの連携手法や、真正性・セキュリティ確保等の環境が整うこと

→

⑬BIMデータの長期的な真正性や見読性が確保されること

→

⑭テレワークが進展すること

→

(5. その他)

⑮その他

→

その他を選択した場合は、その内容を記入してください

■今後のBIMの普及等について、お伺いします。

Q II -4： 建築BIMの普及・拡大に向けて、課題や意見等ありましたら記入をお願いします。

【自由記載】

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。